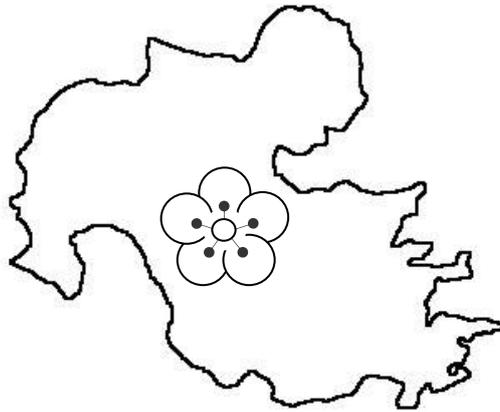


第 40 回

大分県臨床細胞学会

総会および学術集会

□ プログラム □



会 期 2025年2月15日(土) 13:30 ~ 18:40

会 場 大分県立病院講堂(3階)

〒870-8511 大分市豊饒二丁目8番1号

TEL : 097-546-7111, 7112

主 催 がん診療連携拠点病院機能強化事業

後 援 大分県臨床細胞学会

第 40 回大分県臨床細胞学会開催に向けてのガイドライン

【学会を安全に開催するために】

標記学会を開催するにあたりこのガイドラインを基準とした。これを基に感染防止対策を行って参ります。

主催者は施設担当者と調整を図り、3密回避対策を中心に本ガイドラインに示す具体的な対策を徹底し、感染予防、感染拡大防止に取り組みます。

【具体的な対策】

学会 前準備	<ol style="list-style-type: none">1 学会の責任者、担当スタッフの区分を明確化2 学会後 5 日以内に感染者及び感染疑い者が発生した場合の対応を検討3 学会参加者が密になりにくい会場レイアウト等の計画4 ガイドラインの具体的な対策を学会参加者に周知
学会 当日	<ol style="list-style-type: none">1 学会参加者は、マスク着用推奨（咳エチケット徹底）、手指消毒を徹底2 学会参加者は、自宅であらかじめ検温を行う3 会場前で手指消毒を行ってください4 以下に該当する場合は<u>学会参加をお控えください</u><ul style="list-style-type: none">・事前検温 37.5 度以上の発熱がある場合・5 日以内に息苦しさ、全身倦怠感、咳やのどの痛みなどの風邪症状、味覚・嗅覚異常あり・5 日以内に 37.5 度以上の発熱あり・5 日以内に外国への渡航又はそうした方との濃厚接触あり5 会場内の座席は一定の間隔をあけて配置6 会場の窓及び出入口ドアは常時開放し、手指消毒用アルコールを設置7 座長及び演者席に手指消毒用アルコールを設置8 座長及び演者席、フロア等で使用する PC、マイク等はスタッフが休憩時間に消毒を実施9 感染疑い者が学会中に発生した場合は、速やかに主催者は以下の対応を行う<ul style="list-style-type: none">・感染疑い者を直ちに隔離・感染疑い者が発生したエリアのアルコール消毒
学会 終了後	<ol style="list-style-type: none">1 学会終了後、使用したテーブル、マイク、備品類等の消毒実施 (消毒方法はアルコールを使用し、消毒液のついたペーパータオルで拭く)2 学会終了後に感染者及び感染疑い者が発生した場合、必要に応じて情報提供を行う

【参考資料】

新型コロナウイルス感染症禍における MICE 開催のためのガイドライン第 6 版（2022 年 12 月 6 日）
〔一般社団法人日本コンベンション協会〕

==学会場（大分県立病院）アクセス地図==



*学会当日は外来駐車場をご利用ください。

当日は駐車券をご用意いたします。

=== お知らせ ===

1 学会に参加される方へ

(1) 感染防止対策

- ・学会開催にあたり、感染拡大防止のため「現地開催に向けてのガイドライン」を必ずお読みになり、対策の徹底をお願いします。
- ・学会の1週間前から不要不急の外出を控え、体調管理に努めていただくようお願いいたします。

(2) スライドカンファレンス

- ・大分県臨床細胞学会ホームページに掲載された画像をみて、GoogleFoam より回答してください。〔 回答期限：2月13日の17時まで 〕

第40回大分県臨床細胞学会 スライドカンファレンス

<https://forms.gle/MnqpUnZaGhEggRfo6>



(3) 総合受付

- ・総合受付は日本臨床細胞学会会員カード読取で行いますので、会員カードをご提示ください。また産婦人科の先生方は、JSOG アプリのデジタル会員証または JSOG カードを合わせてご提示ください。
- ・大分県臨床細胞学会に入会ご希望の方は、総合受付でお申し込みください。

(4) 参加費等

- ・2024年分の年会費納入済みの方、学生の方は無料です。
- ・年会費未納の方は納入後にご参加ください。※総会参加には年会費が必要です。

2 演者、座長、司会者の方へ

- ・総合受付で出席の確認、演者の方はスライド受付を行ってください。
- ・液晶プロジェクター1台を使用いたします。
- ・文字化けや改行等のトラブル回避のため、事前に発表スライド提出を行ってください。当日提出される場合は、各自媒体をご持参のうえ、発表の30分前までに受付確認を済ませてください。
- ・演者の方はスライドの試写に立ち会ってください。
- ・一般演題の発表時間は7分、質疑応答は3分です。時間厳守でお願いします。
- ・スライドカンファレンスは、症例提示、細胞像の読み、集計結果提示、解説、質疑応答を含め1症例20分を想定しております。時間厳守でお願いします。

3 細胞検査士、細胞診専門医および産婦人科の先生方へ

- ・細胞検査士の単位証明帯を総合受付でお渡しします。
- ・細胞診専門医の先生方に学会参加証（単位認定証明）を総合受付でお渡しします。

4 発表演題に関する利益相反の開示について

筆頭演者ご自身の過去1年間における、発表内容に関連する企業や営利を目的とする団体に関わる利益相反の有無をスライドタイトルページに続いて次のページで開示してください。

【開会あいさつ】 13 : 30~13 : 35

学会長 ト部 省悟 (大分県立病院 臨床検査科 病理部)

【一般演題 I】 13 : 35~13 : 55

座 長 : 川村 和弘 (大分大学医学部 診断病理学講座)

古屋かおる (大分市医師会立アルメイダ病院 臨床検査部 病理診断科)

1. 細胞診で診断できなかった膀胱原発小細胞癌の一例

中津市民病院 研究検査科

○森 知保 (CT)、橋本 幸子 (CT)、山本一郎 (MD)

2. 癌患者の胸腹水中に出現する SPARC (Secreted Protein Acidic and Rich in Cysteine) 陽性細胞について

大分大学医学部 診断病理学講座

○生野 亜紀 (CT)、西田 陽登 (MD)、門脇 裕子 (MD)

同 附属病院 病理診断科・病理部 診断病理講座

駄阿 勉 (MD)

同 附属病院 病理診断科・病理部

平川 功二 (CT)、清岡 征司 (CT)、高橋 彩花 (CT)、江口 友里奈 (CT)

日本文理大学 保健医療学部

長濱 純二 (CT)

【一般演題Ⅱ】 14:00～14:20

座長：東保 太郎（九州大学病院別府病院 検査室）

後藤 英貴（大分県厚生連鶴見病院 診療支援部 臨床検査科）

3. 腹水の細胞・セルブロック診断が有用であった卵管癌 IIIIC 期の 1 症例

九州大学病院別府病院 婦人科

○中村 恭子 (MD)、瓜生 泰恵 (MD)、島田 直未 (MD)、園田 顕三 (MD)

九州大学病院別府病院 検査室

東保 太郎 (MD)、小松 由明 (CT)、宇藤 満昭 (CT)、細田有香里 (CT)

4. Mucinous cribriform pattern を示した ALK 陽性肺腺癌の 1 例

大分県立病院 臨床検査技術部

○後藤 裕幸 (CT)、梶川 幸二 (CT)、田中 百香 (CT)、鳥越圭二郎 (CT)、
佐藤 恭子 (CT)、藤島 正幸 (CT)、山下佐知子 (CT)、和田麻由美 (MT)、
溜島明寿香 (MT)、阿部 史海 (MT)、衛藤 莉和 (MT)、伊井野大輝 (MT)

同 臨床検査科

卜部 省悟 (MD)、草場 敬浩 (MD)、加島 健司 (MD)

同 呼吸器外科

宮脇美千代 (MD)、橋本 崇史 (MD)

【スライドカンファレンス】 14 : 30~15 : 30

司 会： 小山 雄三（大分大学医学部 診断病理学講座）
井上 慎介（大分三愛メディカルセンター 検査部 病理診断課）

症例 1 大分大学医学部 診断病理学講座 門脇 裕子 (MD)

症 例：70代 男性

検査材料：膵臓

病 歴：左腎癌術後(X-13年)，膵転移性癌術後(X-1年)である。経過途中でCT画像上、膵鉤部に腫瘍性病変を指摘された。病変は増大傾向であり、EUSでは同部位にモザイク状病変が認められたため、EUS-FNAで穿刺施行された。

選 択 肢： 1. 膵導管癌
2. 膵腺房細胞癌
3. 転移性癌
4. 膵神経内分泌腫瘍
5. 充実性偽乳頭状腫瘍

症例 2 九州歯科大学 口腔病態病理学 矢田 直美 (DDS)

症 例：80歳代 女性

検査材料：舌（歯間ブラシ，擦過，LBC法 ThinPrep™）

病 歴：1か月前より，左舌縁の潰瘍を自覚し，改善しないためかかりつけ医で軟膏が処方された。潰瘍が縮小傾向であったが，完全に治癒しないため当院受診となった。左舌縁部に紅斑が混在した白斑が見られ，その内部に5~10mm大の潰瘍を2つ認め，擦過細胞診が行われた。

選 択 肢： 1. NILM（扁平上皮過形成）
2. NILM（口腔カンジダ症）
3. OLSIL（低異型度上皮性異形成）
4. OHSIL（高異型度上皮性異形成／上皮内癌）
5. SCC（中分化扁平上皮癌）

症例3 医療法人 野口病院 病理診断科 丸田 淳子 (CT)

症 例：70代 女性

検査材料：甲状腺穿刺吸引

病 歴：X-20年 当院にて右葉切除（濾胞腺腫）

X-12年まで当院を定期的に受診し、左葉腫瘤（腺腫様結節疑い）の経過観察。

X-11年に転院。

X年に左葉腫瘤を指摘され、手術目的で当院を再受診。

- 選 択 肢：
1. 乳頭癌
 2. 濾胞性腫瘍
 3. 髄様癌
 4. 低分化癌
 5. 未分化癌

【 総 会 】 15：40～16：20

【 教 育 講 演 】 16：30～17：30

座 長： 卜部 省悟（大分県立病院 臨床検査科 病理部）

『 リンパ腫の分類と病理，細胞診 』

佐賀大学医学部 病因病態科学講座 診断病理学分野 教授 加藤 省一 先生

【 特 別 講 演 】 17：40～18：40

座 長： 高井 教行（大分労働衛生管理センター）

『 これからの子宮頸がん検診 』

国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科 前科長 加藤 友康 先生

【閉会あいさつ】

学会長 卜部 省悟（大分県立病院 臨床検査科 病理部）